

危機管理

ハイチで阪神大震災クラスの大震災が発生した。日本政府は、ただちに救援隊を送ってハイチの復興に手を貸さねばならない。飲食物は、1週間後に届いてもなんの意味もない。その日から毎日必要なものだからである。……ましてや神戸あたりと比べると明らかに被害の甚大さが伝わってくる。死者は神戸の10倍数10倍におよぶ。ハイチ政府は世界中にSOSを発信している。神戸でさえ、その日の飲み物食べ物に不自由した。ましてやハイチにおいてをや。

政府が考えたことは、**まず調査隊を送り、**である。耳を疑った。何をノ一天気なことを。**すぐに行け！** ことの重大さを全く理解していない。……

総体に現政権は、物事の軽重の判断ができない連中の集まりらしい。たとえば八ッ場ダム（これもヤンバと正確に発音できた人は現地の人間を除けば皆無に近いだらう。）建設の凍結にしても住民の苦渋の決断についての配慮がみられない。「マニフェストにあるから」などと言うが、そのマニフェストがおかしいのに気づいていない。沖縄の米軍基地の移転についても、5月までに決めればいや、という感じ。ことは国防である。今すぐに何らかのアクションをおこ

すべきなのである。

ハイチについてはさすがに批難が続出したため、あわてて援助隊を送ることにしたが、人数をきくと数人から 20 人くらいまでらしい。・・・「援助」というよりも、言葉の壁などを考えると邪魔をしに行くようなもの。・・・がっかりしたよ。

消防庁は、地震発生とともに即座に応援隊を繰り出すべく、準備万端整えて待っていたが、結局出動命令がなかったため、10 日後に解散したという。政治屋より消防庁の隊員のほうがはるかに事態を認識し、国家を背負っている。では義捐金を送るかといえば、あまりの少なさに国連から注意される体たらくである。で、自衛隊を送る、しかも 350 人もの部隊である。それなら・・・と安堵したら、来月（2月）だという。・・・敵が攻めて来たとき、来月から応戦します、などと聞いたことがない。

小生自身の意見は、たっぷりの義捐金とともにただちに消防隊を組織し（彼らは命令を待っていたのだ！）自衛隊も不慮の事故（たとえば食べ物がないため暴徒と化す可能性のある住民など）から消防隊員を護るために同時に派遣する。それでも現地に着くまでまる 2 日はかかるだろう。あの大地震を経験した者として一刻も早く救

助に行ってあげたい・・・考えてもみよ。阪神大震災のとき、外国からどのくらいの救援の申し込みがあったか。さらには、この5日後（実際には4日後）には、慰霊のための集会があちこちである時期である。TVでハイチを見て、あのときの地震を思い出さなかった関西人はいないだろう。（阪神大虐殺に一部書いた。）

ところが社会党が自衛隊の派遣にイチャモンをつけたというから、何をかいわんや！　こいつらには、国防を語る資格はない・・・それにしても民主党は、過半数がとれないからといって、国民の1%あるかないかの支持しかないこんなノ一天気な政党となぜ連立しなければいけないのか。阪神大震災と今回のハイチの地震との共通点は、いずれも社会党が政権の一翼にいることである。民主党にも共通していることだが、要するに**危機管理ができていない**。

2010.01.28.